



三品 和広 氏（神戸大学大学院経営学研究科教授）

誠実さ、一貫性、インテグリティに疑問

誠実さ、一貫性、インテグリティに欠けている例（1）

三品氏は、社外取締役候補者時代、オアシス・マネジメント（以下「オアシス」といいます。）が提案する譲渡制限付株式報酬（RSU）を受け取らないことを確認していました。しかし、臨時株主総会後には、これを受け取る旨の情報開示がなされており、ご都合主義的行動をとっています

2023年2月9日 臨時株主総会通知

会社提案の社外取締役候補者（三品氏を含む）からは、臨時株主総会後において取締役としての地位を有することになっても、譲渡制限付株式報酬（RSU）は、辞退することの確認。

2023年2月24日 臨時株主総会

オアシスの提案取締役候補4名が可決され、株主総会終結時点の社外取締役の員数は6名。その後、会社側取締役1名（遠藤氏）が自ら辞任し、社外取締役が5名（オアシス4名＋三品1名）となる。

2023年5月 会社報告書

三品氏を含む社外取締役に対する中期インセンティブ報酬として、株価条件が設定されていない事後交付型株式報酬を付与することが記載されている。すなわち、譲渡制限付株式報酬（RSU）は、辞退していないことが窺われる。

誠実さ、一貫性、インテグリティに欠けている例（2）

臨時総会前

- ・三品氏は、会社側取締役として、内山高一の会長就任に賛成していた
- ・三品氏は、**会社側取締役として、会社の提案議案にすべて賛成し、オアシスの提案議案に対してすべて反対していた**
- ・オアシスは三品氏の解任を提案していた

臨時総会后

- ・オアシスの提案取締役候補4名が可決され、その後、会社側取締役1名（遠藤氏）が自ら辞任する。
- ・会社側取締役4名（三品氏含む。） vs オアシス提案取締役4名の対立構造
- ・議決権行使助言会社が、臨時株主総会で三品氏の解任に賛成する際に述べた意見（「社外取締役としての責務にも失敗してきた」）に対する反省なし

三品氏の無定見な豹変

- ・これを正当化する他の客観的状況の変更がないにも関わらず、三品氏がオアシスとオアシスの選任した社外取締役に迎合し、オアシスの要求事項にすべて賛成
- ・オアシスの立場は臨時株主総会以前から鮮明でそれに反対していたにもかかわらず、**投票行動を一遍させ、臨時総会后、オアシス側の意見に従属。**

報酬・指名諮問委員会の委員長としての適性に疑問

三品氏（神戸大学大学院経営学研究科教授）は、令和5年2月開催の臨時株主総会までは、当時の取締役会の提案にすべて賛成し、オアシスが提案する解任議案（自身が解任対象）、取締役選任議案にすべて反対していました。しかし、臨時株主総会後は、客観的状況に変化がないのに従前の態度を豹変させ、その誠実さ、考えの一貫性及びインテグリティに疑問があります。